

「港区史」通史編の構成及び構成の決定について

「港区史」は、港区史編さん基本方針に基づき、全編書き起こしとして編さんしています。

構成については、新修港区史（昭和54年刊行）の構成を参考に、各編を担当する監修者及び執筆者で構成される「執筆者会議」や全体監修者及び監修者で構成する「監修者会議」において、学術的な見地を踏まえ、次のとおりとしました。

1 「港区史」通史編の構成について（資料1-2及び1-3のとおり）

各時代における構成は、章・節・項の3段階の構成を基本とし、一つの節又は項が長くなる場合には、吊り見出しを設置し読みやすい長さには区切りません。また、本文の他にコラムを配置します。

※分かりやすさや親しみやすさ、活動調査などの進捗を考慮して、平成29年度第2回港区史編さん委員会において決定いただいた表記を一部変更しています。

※タイトル表記については、部分監修や全体監修を経て変更される場合があります。

(1) 章立てについて

【全体共通】

各時代のはじめに序章を設け、各時代の特徴を記述することで、区民がその時代の背景を理解できるような構成としています。

【各時代】

基本的には、時代の流れが分かるような記述としますので、章立ては時代区分を基本としますが、近世及び現代については、時代背景を理解しやすいよう、概念（テーマ）区分としています。

自然編は、自然の様々な事象（地形、気候等）について、その成り立ちや変化の過程を記述するため、概念（テーマ）区分としています。

※現代の構成について

港区史の現代においては、現代監修者と区が相互に意見交換しながら、区から記述いただきたい項目について執筆依頼し、その内容を反映した構成としています。

なお、記述内容については、平成32年3月末日までとしますが、記述内容によっては、それ以降も含むことがあります。

時代	章・節・項	考え方
原始・ 古代・ 中世	章：時代区分	・時代区分で、その時代の特徴を捉える。
	節：概念（テーマ）区分	<ul style="list-style-type: none"> ・考古学資料から捉える。（縄文、弥生、古代の概況） ・文献資料から捉える。（古墳時代や国の成立の概況） ・文書等の資料から捉える。（鎌倉～室町時代の概況）
	項：概念（テーマ）又は時期	<ul style="list-style-type: none"> ・節を細分化したテーマ。 ・遺跡については、前期・後期等時期区分とする。
近世	章・節・項： 概念（テーマ）区分	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸という大都市の中の港区域の特徴を記述する。 ・空間（町人地・寺社地・武家地等）を基本とした構成で捉える。
近代	章：時代区分	・日本全体として激動の時代であったため、明治期・戦間期等の時期で捉える。
	節・項： 概念（テーマ）区分	・各章に同内容のテーマの節・項を設けることで、時代ごとのテーマの特徴を捉える。
現代	章：概念（テーマ）区分	・章は行政の取り組みに合わせて構成し、各分野の概要を捉える。
	節：概念（テーマ）又は時期	<ul style="list-style-type: none"> ・章を分野で区切っているため、節を時系列としている。（戦後、高度経済成長期、バブル経済、現在など） ・港区域を空間的に捉える必要があるもの（人口、町域等）については節を概念区分とする。
自然	章・節・項： 概念（テーマ）区分	・過去から現在までの長い時間を対象とするため、地形の変遷や成り立ち、海面の変化、現代の気象・気候・生物等を対象とし、それぞれのテーマで港区の自然を捉える。

(2) コラムについて

節・項には収まらないトピックや、本文には記載しきれない用語の説明、参考や補足などについて、コラムとして掲載します。

(3) 区史の本文以外の掲載要素について

①口絵

各時代刊本の特徴的な写真や図判を数点掲載

②目次

各刊本の該当目次を掲載。また同時代が分割される場合は、関連する前後の巻の目次も掲載

③凡例

編集方針や利用の仕方など、箇条書きで掲載

④その他

刊行のごあいさつ（区長）、刊行にあたって（編さん委員長）、参考文献、協力者、執筆者、関係者等

2 構成の決定について

構成の決定内容

	平成 32 年 3 月刊行			平成 34 年 3 月 刊行	平成 35 年 3 月 刊行
	通史編	自然編	図説版	通史編	
	原始・古代・中世、近世			近代	現代
章	決定	決定	(暫定)	決定	(暫定)
節	決定	決定	(暫定)	(暫定)	(暫定)
項、 コラム	(暫定)	(暫定)	—	(暫定)	—

※「決定」としているものについては、タイトル・数・位置を決定します。

ただし、タイトル表記及び序章の構成については、部分監修や全体監修を経て変更される場合があります。

※（暫定）としているもののうち平成 32 年 3 月刊行分については、今年 7 月頃開催の編さん委員会で決定する予定です。それ以降の刊行分については検討中です。

※図説版の章については、読みやすさ、親しみやすさを考慮した表現を目指すため、監修者と調整を行います。

3 今後のスケジュール（予定）

- 平成 31 年 3 月 26 日 港区史編さん委員会にて港区史構成（上記 2 の決定内容）の決定
- 平成 31 年 7 月頃 通史編（原始・古代・中世、近世）、自然編、図説版の原稿の確定
港区史編さん委員会にて港区史構成（上記 2 の暫定内容）の決定
- 平成 32 年 3 月 通史編（原始・古代・中世、近世）、自然編、図説版 刊行
- 平成 34 年 3 月 通史編（近代） 刊行
- 平成 35 年 3 月 通史編（現代）・資料編 刊行